

地域で知り合う居場所 「縁が輪」を作ろう

田頭祐子 (みどり・市民)



地域福祉ファシリテーター養成講座の修了生による、サロンや居場所作りが4年間で6つも始まっている。(ア)目的は、(イ)どのような活動があるか。(ウ)周知が足りない。サロンのマップ作りへの支援は。(エ)地域のよろず相談も引き受けられるファシリテーターの適切な配置を。(オ)市民協働の視点で、住民の活動を支援し、連携させる地域福祉コーディネートが必要だ。

福祉保健部長 (ア)行政の手が届かない地域福祉活動を住民の立場で推進し、コミュニティを強化する。(イ)地域で知り合いを増やす居場所作り、おしゃべりサロン、立ち寄り所の企画運営、市内のサロンのマップ作り、情報交流広場の企画など。(ウ)市の



多世代交流の寄合所のある『また明日』

男女平等のポジティブ・アクションを

漢人明子 (みどり・市民)



日本は世界男女平等ランキング101位で、女性の貧困化も進んでいる。国の2020年までに社会のあらゆる分野の指導的女性の割合を30%にする目標達成に向け、公共契約を通じたポジティブ・アクションへの取組を。

(ア)市管理職の女性比率とアツプの方策。(イ)総合評価入札制度における男女共同参画の位置付け。(ウ)同じく公契約条例における位置付け。(エ)第4次女性行動計画に公共契約を位置付け、推

進すべき。(オ)女性行動計画の性的マイノリティの位置付け。(カ)男女平等施策をどう進めるのか。総務部長 (ア)15%。主事職に占める割合は61%。昇任試験を受けやすい環境づくり、能力向上への支援体制等。(イ)22年度より試行実施。女性比率30%以上の会社に加給。(ウ)今後の研究。企画財政部長 (エ)審議会に伝え、進捗状況をチェック。企画政策課長補佐 (オ)「性別によらずだれもが」に書き換え。市長 (カ)積極的に取り組む。

脱ムダで市政を変える 更なる行革の断行を

渡辺大三 (みどり・市民)



管理職者の人数が、東京多摩地域26市の中で、小金井市と人口が同じ昭島市、東久留米市、国分寺市に比べて多くなっている。相当過剰な配置になっている。多過ぎる人数に、それらの年間人件費を掛け合わせてみると、約4億円ぐらゐの過剰分がある。意識的に是正していく必要があるのではないかと。市長 管理職が多いのはおっしゃられるとおりである。しか



職員数、管理職者数の削減が必要

孤独死ゼロへの対策の充実を

板倉真也 (日本共産党)



①(ア)「ひと声訪問事業」は十分に安否確認になっていると考えるが、市の見解を問う。(イ)「ひと声訪問事業」を見直し以前に戻すべき。

福祉保健部長 (ア)見守り支援の重要な事業の一つと認識している。(イ)見直し前の状況に戻すことは考えていない。受益者負担の導入や対象要件等も含め、他の見守り支援事業と合わせて考えていく必要がある。②公民館事業の新年度の予算

額は、10年間で最低レベルとなっている。「公民館活動の更なる発展」「施策の充実」に反するもの。(ア)今後、どのようにして「施策の充実」を実現させようとしているのか。(イ)予算の拡充を果たしていくべき。市長 (ア)市民に、この事業をお任せすることも考えていく必要があるだろうと思っている。公民館長 (イ)厳しい財政状況のなか、必要な予算はできるだけ削減しない方向で努力していることをご理解いただきたい。

放し飼いにされた動物等の対応について

森戸洋子 (日本共産党)



①飼い主のいない猫をこれ以上増やさないため、先進市の経験に学び、去勢手術助成等の対応策を検討しないか。

環境部長 すでに東京都の包括補助金を活用し、14市が実施。単なる助成でなく、地域活動の連携など抜本的に対応している。今後、総合的に判断する。市長 飼い主の責任である。飼いに管理をお願いしたい。現在の財政状況では困難である。

②危機的財政状況を理由に、がん健診や特定健診を有料化する方針だが、早期発見早期治療を遅らせる。有料化をやめるべき。また公民館、集会施設の有料化も同様である。当面蛇の目工場跡地にプレハブ庁舎を建設するなど、市民の生活に回すべ



新庁舎建設予定地 (旧蛇の目工場跡地)

き。市長 負担能力のある人は負担してもらおう。都市計画事業は必要。プレハブ庁舎をやるつもりはない。この他に、調布飛行場の運用の変更について質問。

東小金井駅北口地域の 買い物難民に対策を

青木ひかる (みどり・市民)



東小金井駅北口地域に2009年からスーパーがなく、梶野町と緑町東部が買い物不便地域になった。さらに、区画整理事業による除却や都市計画道路建設のための立ち退きにより、日常生活の買い物に支障をきたす状況が生じている。(ア)商業者と連携して移動販売を行わないか。(イ)地元農業者の協力を得て、東小金井駅北口に仮設の農産物直売所を作らないか。市民部長 商業振興策は商店

街の自助努力に対し、市は側面から支援を行うことを基本姿勢としている。(ア)行政として実施するのは非常に難しい。商工会に伺ったところ、黄金井の里というエンジン役の中間組織を中心にしながら、買い物不便地域への対応については課題として受け止めているという話をいただいた。(イ)JA東京むさしに伺ったところ、場所や従業員、生産高の関係で難しいということである。

ご利用ください 声の議会だよりを発行しています

目の不自由な方のために、市議会の活動を知っていただくため、「声の議会だより」を発行しています。「声の議会だより」は、ボランティアグループ小金井市対面朗読の会のご協力をいただき、市議会だよりの内容をカセットテープに収録したものです。ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら議会事務局までご連絡ください。

- 対象** 原則として身体障害者手帳1～6級の視覚障害者の方
- その他** 対象者以外の方で録音テープを利用したい方は、図書館でご利用いただけます
- 申込み** 議会事務局 (市役所本庁舎 4階 ☎042-387-9947)